

奥尻町教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の
点 検 及 び 評 価 報 告 書
(平成30年度)

奥尻町教育委員会

(単位:千円)

| 番号 | 事業名 | 事業内容 | 事業費 | 備考 | 自己評価 | 外部評価 |
|----|----------------------------------|--|--------|---|------|------|
| 1 | 奥尻町いじめ不登校対策等委員会 奥尻町いじめ根絶子ども会議 | 奥尻町内における、いじめ不登校等の問題行動や生徒指導上の課題の解決に向け、各学校の取組状況や実態把握、情報交換、協議等を通じて、関係機関等が密接な連携・推進を図る。毎年1回2月中旬に各小中学校・高校と共同で実施。 | 12 | いじめ根絶子ども会議等町内旅費 | B | B |
| 2 | 奥尻町特別支援教育連絡協議会 | 奥尻町立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校に於いて、特別な教育的支援を必要とする子どもに、適切かつ効果的・効率的な指導を推進する。毎年1回11月下旬頃に開催。 | 16 | 11/27 参加教職員町内旅費 | B | B |
| 3 | 「北海道教育の日」協賛事業 教育委員会学校視察 | 「家庭、学校、地域社会及び行政が一体となって、教育に関する理解と関心を高めるための様々な取組を展開することによって、全ての道民が子どもたちの教育について考え、語り合い、行動する契機とする」という北海道教育の日の趣旨に協賛し、毎年1回11月下旬頃に教育委員により実施している。 | 0 | 11/21 参加教育委員町内旅費 | B | B |
| 4 | 預かり保育 | 住民のニーズに沿うよう、保育時間終了後(午後2時から6時00分まで)、預かり保育を実施している。平成26年10月より青苗幼稚園においても実施している。 | 15,678 | | C | C |
| 5 | 奨学資金の貸付 | 奥尻町に在住する子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学する者あるいは現に在学する優秀な生徒並びに学生で経済的理由により、就学困難者に対し、奨学資金を貸付け、もって有用な人材を育成することを目的とする。 | 4,490 | | B | A |
| 6 | 土曜授業推進事業 | 土曜授業を活用し、各教科、領域での体験活動、特に「直接体験」を重視していく。このことにより豊かな人間性や自ら学び考える力を育成できると同時に、従来の5日制よりも児童の負担が少なく日常の学習に取り組むことができる。更に三類型の授業「習得型」「活用型」「探究型」の充実を図ることができる。 | 0 | 青苗小学校が推進校 | B | B |
| 7 | ICT活用教育促進事業 | 情報化やグローバル化が進み、将来の予測が困難な時代を前に子どもたちは、社会の変化に対して受け身で対処するのではなく、主体的に関わっていく力が必要である。ICT教育をとおし、アクティブラーニングの推進、個のニーズに応じた育成を実現できる。 | 0 | 奥尻中学校(北海道委託事業) | B | B |
| 8 | ICTを活用した遠隔授業導入事業 | 離島という地域でも教育の質の維持向上が求められる中で、遠隔授業を実施することにより小規模校でも交流学習や専門性の高い授業を実施することが可能となる。 | 0 | 奥尻中学校(北海道委託事業) | E | E |
| 9 | 奥尻町校外生活指導連絡協議会運営事業 | 奥尻町の将来を背負う若者の健やかな成長のため、小中高、保護者、地域間の協力を目指す。 | 100 | | B | B |
| 10 | 奥尻町教育団体連合会運営事業 | 奥尻町へき地複式教育研究連盟、奥尻町特別支援学級教育研究会、奥尻町教育推進協議会の教育団体に対し助成を行う。町内小中学校の教育活動を補助する各種団体の円滑な運営を目的とする。 | 413 | 奥尻町教育推進協議会補助金200千円 特別支援学級教育研究会補助金180千円 へき地複式教育研究連盟補助金33千円 | B | B |
| 11 | 小学校体育連盟運営事業 | 町内陸上や小学校球技大会の参加を通して、児童の学校間交流を図る。児童の競技ルールの習得やスポーツマンシップの高揚を図る。 | 108 | | E | E |
| 12 | 小学校社会科副読本製作事業 | 町内の児童が小学校で使用する副読本の内容を改訂し、郷土教育の充実を図る。 | 26 | 軽微な内容修正・増刷費 | B | B |
| 13 | 学習支援ツール(スタディサプリ)導入事業 | 生徒の学習の際に使用できるツールの使用料を補助することで、教育の質の向上を図る。 | 176 | | B | B |
| 14 | 奥尻町立中学校檜山中体連陸上・各球技大会出場事業 | 体育系の部活動を野球部・女子バレー部・卓球部と3部設置しており、毎年7月に開催される檜山中体連球技大会に参加している。※陸上部はないが、陸上出場選手もいるので参加費等を助成している。 | 661 | 陸上12名、野球10名 卓球12名、バレー15名 | B | B |
| 15 | 奥尻町立中学校北海道バレーボール大会出場事業 | 全道大会への出場を通して、生徒の競技力の向上と、奥尻町や檜山の代表としての意識を高め、誇りと自信をもって生活することができる。 | 165 | 奥尻中学校 生徒2名、教員1名参加 | B | B |
| 16 | 奥尻町立中学校北海道陸上競技大会出場 | 全道大会への出場を通して、生徒の競技力の向上と、奥尻町や檜山の代表としての意識を高め、誇りと自信をもって生活することができる。 | 56 | 奥尻中学校 生徒1名、教員1名参加 | B | B |
| | 小 計 | | 21,901 | | | |

平成30年度事務・事業評価対象事業リストアップ

No.2

(単位:千円)

| 番号 | 事業名 | 事業内容 | 事業費 | 備考 | 自己評価 | 外部評価 |
|----|---------------------------------------|---|--------|--|------|------|
| 17 | 奥尻町立中学校吹奏楽部函館地区コンクール出場事業 | 文化系活動として吹奏楽部があり、練習活動に励んでいるところであるが、加盟団体である北海道吹奏楽連盟主催の函館地区コンクールが開催されるので、日頃の練習の成果を試すとともに、参加することにより、さらに今後の活動意欲を高めることを目指す。 | 399 | 参加者7人 | B | B |
| 18 | 奥尻中学校檜山管内中学校英語暗唱大会出場事業 | 外国語(英語)教育において、近年特にコミュニケーションの重要性が叫ばれる中、授業にも生きた英会話、コミュニケーションを取り入れているところである。 | 9 | 奥尻中学校 生徒1名・教員1名参加 | B | B |
| 19 | ミルク給食 | ミルク給食を活用し食育の推進を図る。 | 1,400 | 牛乳代 1,244千円 運搬費 156千円 | B | B |
| 20 | 修学旅行費援助事業(小学校) | 島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせることと、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。 | 539 | 奥尻小学校 8名 青苗小学校 6名 | B | B |
| 21 | 修学旅行費援助事業(中学校) | 島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせることと、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。 | 1,760 | 奥尻中学校 22名 | B | B |
| 22 | 修学旅行費援助事業(高等学校) | 島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせることと、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。 | 567 | 奥尻高等学校 12名 | B | B |
| 23 | まなびじま奥尻プロジェクト | 持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、島全体を学校とみなし各産業の課題克服に向け生徒自身が考え行動する。 | 0 | まちおこしワークショップ 奥尻イングリッシュサローン Wi-Fiコーナー 奥尻バブリシティ | B | B |
| 24 | 奥尻高校島留学生受入推進事業 | 奥尻高校の生徒数維持・教育環境の向上のため島外からの生徒受入を実施する。 | 8,591 | 生徒募集説明会 オープンキャンパス 受入宿舎助成 島留学生への補助 | B | B |
| 25 | スクーバ授業推進事業 | 離島という特性を生かし、特色ある授業としてスクーバ授業を実施する。 | 5,091 | | A | A |
| 26 | 外国語教育指導助手招へい事業 | 外国語教育指導助手を招へいし、小中高の外国語教育の向上を図る。 | 2,641 | | B | B |
| 27 | 準要保護児童生徒認定及び援助事業 | 就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対し、学校でかかる費用の一部を町から援助している。 | 544 | | B | B |
| 28 | 各種検診事業 | 幼児・児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。 | 1,060 | | B | B |
| 29 | 少年の主張発表大会への支援 | 日常生活の中で、日頃考えていることを広く発表することにより、社会の一員としての自覚と責任の育成を図る。 | 10 | 少年教育の推進 | B | B |
| 30 | 青少年の体験活動推進事業「ジュニアリーダーコースHokkaido」への支援 | 中学生リーダーの育成を図る。 | 17 | 少年教育の推進 | B | B |
| 31 | 成人式・成人の集い | 社会組織の一員となることから、自覚の意識を持たせることを目的とする。 | 220 | 青年教育の推進 | C | C |
| 32 | 社会教育団体への支援 | PTA連合会・女性団体連絡協議会・文化協会への支援を行う | 430 | 青年教育・女性教育・芸術文化振興の推進 | B | B |
| | 小 計 | | 23,278 | | | |

(単位:千円)

| 番号 | 事業名 | 事業内容 | 事業費 | 備考 | 自己評価 | 外部評価 |
|----|----------------------|---|-------|----------------|------|------|
| 33 | 社会体育団体への支援 | 体育協会・スポーツ少年団・町民体育祭実行委員会への支援を行う | 504 | スポーツ振興・少年教育の推進 | B | B |
| 34 | 第40回児童・生徒書道展 | 児童・生徒に対し書道の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を育む。 | 25 | 芸術・文化 | B | B |
| 35 | 第40回子ども美術展 | 児童・生徒に対し絵画の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を育む。 | 76 | 芸術・文化 | B | B |
| 36 | 奥尻岬巡りツアー | 奥尻町に転入された方を中心に、島の史跡や歴史、活動を紹介することで、より奥尻島を深く知ってもらうとともに、今後の社会活動のきっかけづくりとする。 | 9 | 芸術・文化 | B | B |
| 37 | 児童芸術鑑賞事業 | 舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域の児童に対して、鑑賞する機会を提供し、次代を担う児童生徒の豊かな感性や個性を育むと共に、芸術文化を理解し、大切にすることを養う。 | 0 | 芸術・文化 | B | B |
| 38 | 佐藤義則杯野球大会 | 郷土の星、福岡ソフトバンクホークス投手コーチ「佐藤義則」氏の功績をたたえとともに、町内野球団体の技術の普及向上と親睦を図る。 | 53 | スポーツ推進事業 | B | B |
| 39 | 檜山管内スポーツフェスタ(町内開催) | 管内で競技を持ち回りながら行っている事業。奥尻町ではバレーボール大会を開催予定だった。 | 0 | スポーツ推進事業 | B | B |
| 40 | 檜山管内スポーツフェスタ(町外開催) | 管内で協議を持ち回りながら行っている事業。平成30年度はゲートボール競技(せたな町)に参加した。 | 97 | スポーツ推進事業 | B | B |
| 41 | 第42回町民スキー大会事業 | スキーを通じて、冬期間における町民の親睦と体力・技術の向上を図る。 | 148 | スポーツ推進事業 | B | B |
| 42 | 学校体育館・グラウンド夜間開放事業 | 身近なところで気軽にスポーツに親しめるよう、学校の体育施設を開放する。 | 200 | スポーツ推進事業 | B | B |
| 43 | スキー場開放事業 | 簡易リフトを開放し、スキー人口の拡大と愛好者の技術の向上を図る。 | 1,961 | スポーツ推進事業 | B | B |
| 44 | 第25回教育長杯グラウンドゴルフ大会事業 | 誰にでもできるスポーツとして親睦と体力の向上を図るため実施した。 | 28 | スポーツ推進事業 | B | B |
| | 小計 | | 3,101 | | | |

| 番号 | 事業名 | 事業内容 | 事業費 | 備考 | 自己評価 | 外部評価 |
|----|---------------|---|--------|------------|------|------|
| 45 | 町民スキー教室 | スキー技術の向上、競技人口の拡大を図るとともに、スキーヤー同士の親睦を図る。 | 57 | スポーツ推進事業 | B | B |
| 46 | おくしりチャレンジスクール | 地域の多様な人物、企業等に参画していただき、学校で経験できないような体験事業を年間を通じて開催することで、青少年の「生きる力」を育むとともに、町民の主体的なまちづくりへの意識を醸成する。 | 96 | 青少年教育・成人事業 | B | B |
| 47 | うみいろCafé | 図書室の取り組みによる読書活動の推進及び図書室利用者増加。ボランティアによる町民の主体的なまちづくり意識の醸成。 | 15 | 青少年教育・成人事業 | A | A |
| 48 | ブックスタート | 親子の健やかな成長の促進、過程を見守る地域の支援体制づくり。家庭・地域の連携による子どもの読書活動の推進。 | 17 | 青少年・成人教育事業 | B | B |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 小計 | | 185 | | | |
| | 合計 | | 48,465 | | | |

1.基本項目

| | | | | | | |
|-------|---|------|--|-------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | いじめ不登校対策 | 施策内容 | 児童生徒及び高等学校生徒による、いじめ・不登校等の問題行動等の諸課題に対する具体的な対応方針等についての検討会議を行う。 | | | |
| 事業名 | 奥尻町いじめ・不登校等対策委員会、奥尻町いじめ根絶子ども会議 | | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年5月9日、平成30年11月1日いじめ不登校対策等委員会、11月13日いじめ根絶子ども会議（中高ピアサポートトレーニング） | | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成19年度 |
| 目的 | 奥尻町内における、いじめ・不登校等の問題行動や生徒指導上の課題の解決に向け、各学校の取り組み状況や実態把握、情報交換、協議等を通じて、関係機関等が密接な連携・推進を図るため。 |
| 事業概要 | 各小中学校の児童生徒の代表者及び奥尻高等学校の代表者により、いじめ不登校対策の事例発表を行い、それについて全体会議及び班毎に討議を行う。 |
| 対象者 | 奥尻町立学校児童生徒及び奥尻高等学校生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事務局費 | 11 | 11 | 4 | 0 | 12 |
| 費用弁償 | 11 | 11 | 4 | 0 | 12 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | いじめ・不登校等の問題行動について、児童生徒自身が考え、行動する機会を得ることで、問題行動等に対する課題意識の発揚と、未然防止対策につながるようになることから、極めて有意義であると考え。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|------------------|------|--|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育 | 施策内容 | 特別に支援を要する児童生徒について協議し、特別支援学級の設置などを判断する。 | | |
| 事業名 | 特別支援教育連絡協議会 | | | | |
| 事業実施日 | 11月27日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 特別支援教育連絡協議会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 奥尻町立の幼稚園、小学校、中学校、高校において、特別な教育的支援を必要とする子どもに、適切かつ効果的・効率的な指導を推進するため。 |
| 事業概要 | 奥尻町立幼稚園、小学校、中学校、高校の校長及びコーディネーター、そして奥尻町住民課長、保健指導係長、子ども支援係長、函館児童相談所を構成員として、学習障害（LD）多動性障害（ADHD）等を含む障害のある児童生徒に対する支援体制のあり方などを協議・検討する。 |
| 対象者 | 園児・児童・生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事務局費 | 9 | 5 | 6 | 3 | 16 |
| 費用弁償 | 9 | 5 | 6 | 3 | 16 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 近年特別な支援を要する子どもたちが増えてきている現状にあることから、こうした組織の必要性、重要性も増してきている状況にあり、現状を維持しつつ、継続すべき事業と考える。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|-------------------------|------|----------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局総務係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 教育委員会活動 | 施策内容 | 教育委員会委員による学校訪問 | | |
| 事業名 | 「北海道教育の日」協賛行事 教育委員会学校視察 | | | | |
| 事業実施日 | 11月21日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 教育委員会委員による学校訪問を行うことで、学校経営や学校での取り組みについて、教育委員会委員へ実情を説明し、意見交換を行うため。 |
| 事業概要 | 基本的に校長が新たに赴任した学校を当該年度において訪問することとし、学校経営等の実情を聞き取りする。また教育委員会委員との意見交換を行う。(奥幼、青幼、奥小、青小、奥中、奥高訪問) |
| 対象者 | 各学校長・教頭、各幼稚園園長 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 教育委員会費 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 費用弁償 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価(自己評価)

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>教育委員会委員による学校訪問は、各学校で学校経営がどのように行われているかを各教育委員が知る機会となり、それにより方向性等を検討することができるので、有意義であると考え。また、学校側にとっても学校の現状や課題、要望等について教育委員へ直接伝えることができるため、問題解決のための一助となっている。現状を維持しながら、継続していく必要がある。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | | |
|-------|----------------------|------|--|-------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局総務係 | | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 預かり保育 | 施策内容 | 幼稚園の保育時間終了後、在園児を幼稚園の施設で預かり、保護者の子育てを支援する。 | | | |
| 事業名 | 預かり保育 | | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月6日～平成31年3月19日 | | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成23年度 |
| 目的 | 幼稚園の保育時間終了後、幼稚園の管理下において希望する在園児を当該施設で預かり保育することにより、保護者の子育てを支援する。 |
| 事業概要 | 幼稚園において通園している園児を対象に、希望があれば、保育時間終了後、預かり保育を行う。 |
| 対象者 | 奥尻町立幼稚園園児（保護者）※青苗幼稚園は平成26年10月より実施。 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-------------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 利用者延べ人数 | 27 | 1373 | 4,643 | 5,283 | 7,513 |
| | | (延べ人数/日に変更) | (延べ人数/日に変更) | (延べ人数/日に変更) | (延べ人数/日に変更) |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 幼稚園保育料 (預かりのみ) | 2 | 137 | 464 | 528 | 751 |
| 幼稚園管理費 | | | 20,450 | 14,437 | 15,678 |
| 臨時職員賃金 | | | 6,459 | 2,895 | 4,079 |
| 消耗品費 | | | 734 | 754 | 779 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">C</td> </tr> </table> | ランク | C | <p>保護者の子育て支援のため、幼稚園の保育時間終了後預かり保育を実施しているが、保護者のニーズもあり、利用がされている実態にある。平成26年度からは、青苗幼稚園においても預かり保育を始めている。また平成27年度からは、1時間100円、利用時間を午後6時までとし、より一層利用しやすい環境の改善を図っている。今後については、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化として法改正がされ、幼稚園保育料は無償化されるが、預り保育については保育認定（2号認定）を受けた児童の保護者のみ無償化されることとなっている。朝の預り保育についても同様に検討する。</p> |
| ランク | | | |
| C | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 令和元年10月1日から幼児教育・保育の無償化として法改正がされるため、改善の上継続とすることが妥当である。 |

1.基本項目

| | | | | | | |
|-------|----------------------|------|--|-------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局総務係 | | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 後期中等教育・大学教育・専修学校教育 | 施策内容 | 高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者に奨学金を貸し付ける | | | |
| 事業名 | 奨学金の貸付 | | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 昭和63年 |
| 目的 | 奥尻町に在住する子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学する者あるいは現に在学する優秀な生徒並びに学生で経済的理由により、就学困難な者に対し、奨学資金を貸付け、もって有用な人材を育成することを目的とする。 |
| 事業概要 | 高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者に奨学金を貸し付ける |
| 対象者 | 奥尻町に在住する者の子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者 |

3.実施状況

| 指標 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 新規貸付 | 人 | 1 | 0 | 4 | 4 | 6 |
| 新規貸付 | 千円 | 600 | 0 | 1,350 | 1,440 | 2,040 |
| 在学中貸付 | 人 | 6 | 4 | 2 | 4 | 5 |
| 在学中貸付 | 千円 | 2,520 | 1,800 | 1,200 | 1,800 | 2,040 |
| 決算額 | 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 奨学金 | | 3,120 | 1,800 | 2,550 | 3,240 | 4,490 |
| 負担金補助及び 交付金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 奨学資金貸付金 | | 3,120 | 1,800 | 2,550 | 3,240 | 4,490 |
| | | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | |
|--|-------------------------|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | |
| <table border="1" style="float: left; margin-right: 10px;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td></tr> </table> <p>奨学資金貸付条例に基づき事業を展開しており、この間有用な人材を育成し、ある一定の成果をあげてきていると言える。ただ、あくまでも一般財源からの貸し付けであり、貸付期間終了後1年後から償還が始まる。滞納者も相当数いるものの、町内の滞納者については、平成24年度において直接訪問し、この間支払が滞っている方々も理解を示し、償還金を完済した方々もいる。島外者の中には、通知を送っても住所不定で郵便が戻ってきてしまう滞納者もいる。また、現年度分についても、数ヶ月支払が滞っている人については、通知をし、相談に応じるなどの対応をとっている。今後とも滞納者対策に努力を続けていくとともに、貸し付けについても有用な人材を育成するという目的に沿い、現状のまま継続とする。</p> | ランク | B |
| ランク | | |
| B | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | Ⓐ事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 奨学金貸付額について金額改定の必要があると思われる。事業の拡充を要望する。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|----------------------|------|---|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局総務係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育（小学校） | 施策内容 | 文部科学省の「土曜授業推進事業」を活用することで、各教科、領域での体験活動、特に「直接体験」を重視していく。このことにより豊かな人間性や自ら学び考える力を育成できると同時に、従来の5日制よりも児童の負担が少なく日常の学習に取り組むことができる。さらに三類型の授業「習得型」「活用型」「探究型」の充実を図るこ | | |
| 事業名 | 土曜授業推進事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町立青苗小学校 |
| 事業開始年度 | 平成26年度 |
| 目的 | 直接体験を重視し、より豊かな人間性の育成、学び考える力の育成を図る。 |
| 事業概要 | 土曜日を授業日とすることで、平日5日間の授業の内容を、行事等の練習日等にとられないようになり、平日5日間を有効に活用することができ、より一層授業の深度を増すことができる。また、土曜授業として地域の人材を活用し、児童に対する地域の学びの場面として提供することができる。 |
| 対象者 | 児童 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----------|-------------|--------|------------|--------|--------|
| 授業実践交流 講師 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| | 講師として消防から2名 | 外部講師 | ライフセービング講師 | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事務局費 | 214 | 217 | 213 | 0 | 0 |
| 報酬 | 30 | 16 | 18 | 0 | 0 |
| 旅費 | 0 | 57 | 51 | 0 | 0 |
| 消耗品費 | 179 | 139 | 139 | 0 | 0 |
| 通信運搬費 | 5 | 5 | 5 | 0 | 0 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---------|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | <p>文部科学省の「土曜授業推進事業」について、青苗小学校が採択となり、平成26年度より「試行」ということで実施した。</p> <p>児童にとっては平日5日間で主要教科の一層の充実を図り、土曜授業では、行事等の練習日や地域の人材を活用し、特色ある学びの場面とすることができるなど、効果は大きいと考える。</p> <p>指定事業は28年度で終了したが、町単独で事業の継続を必要とする。</p> |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 (B) 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|-------------------------|------|---------------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局総務係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | I C T 教育機器を活用し、教育の質向上を図る。 | | |
| 事業名 | I C T 活用教育促進事業（北海道委託事業） | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町立奥尻中学校 |
| 事業開始年度 | 平成27年度 |
| 目的 | 人口減少に伴い、児童生徒数が減小し、人との学びあいや社会性の育成など、教育の質の向上が課題となっており、時間や距離に影響されないI C T機器を活用し、教育の質の向上を図るため奥尻中学校をモデル校として調査、研究を行う。 |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員がI C Tを活用した授業ができるようになる研修の実施。 ・I C T機器を有効に活用した授業展開、授業形態の研究（遠隔授業含む）。 ・日常的にI C T機器を活用できる環境の推進と保護者端末への電子だよりの配信。 ・情報モラル教育の推進 |
| 対象者 | 奥尻中学校生徒・教職員 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| タブレット端末 台数 | | 21 | 29 | 29 | 29 |
| 無線LAN環境 | | 普通教室全域 | 普通教室全域 | 普通教室全域 | 普通教室全域 |
| 研修回数 | | 7 | 12 | 12 | 9 |
| 実践授業 | | 0 | 9 | 9 | 通年 |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 学校管理費 | | | | | |
| 修繕費 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|---|-------------------------|----------|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table> | ランク | B | <p>現代社会では、I C Tが日常生活の中に深く入り込んでおり奥尻島においても、その兆候は例外ではない。人口減少による過疎化が進むなか、I C Tを活用することで離島であることのハンディキャップを感じさせない質の高い学びを構築し、次世代を担う生徒が情報社会に主体的に対応できる情報活用能力を身に付けさせ、島内外で活躍できる人材を育成するため、継続して実施する必要がある。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 (B)現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|-----------------------------|------|------------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局総務係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | I C T機器を活用し、遠隔授業を実施する。 | | |
| 事業名 | I C Tを活用した遠隔授業導入事業（北海道委託事業） | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町立奥尻中学校 |
| 事業開始年度 | 平成28年度 |
| 目的 | I C T機器を活用した遠隔授業を実施し、小規模校の教師不足解消、少人数による協同的学びの推進をし、学習意欲の向上を図るための調査・研究を行う。 |
| 事業概要 | ・遠隔会議システムを活用した研究授業の実施。 ・教職員に対する遠隔会議システムの操作研修会の実施。 |
| 対象者 | 奥尻中学校生徒・教職員 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 遠隔システム | | | 一式 | 一式 | 一式 |
| 遠隔授業 実施回数 | | | 2 | 2 | 1 |
| 合同授業 | | | | | 4 |
| 教職員研修 | | | | | 1 |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 学校管理費 | | | | | |
| 修繕費 | | | 0 | 194 | 0 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---------|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | E |
| | 今年度は江差町立江差中学校が連携校として指定されており、生徒間交流・教職員研修等を実施した。離島という地域でも教育の質の維持向上が求められる中で、遠隔授業を実施することにより奥尻町においても交流学习や専門性の高い授業を実施することが可能となった。道教委よりI C T教育推進の一環として積極的な取組を行うべく、機材等を借用していたが、委託事業期間終了により、借用していた機材の返却を行ったため、事業廃止とする。 |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 遠隔授業で使用していた機材を道教委に返却したため、ランクEとし事業廃止とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|----------------------|------|------------------------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局総務係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 生徒指導・非行防止 | 施策内容 | 三大祭り等の際に、児童生徒の安全及び非行等がないか見回り活動を行う。 | | |
| 事業名 | 奥尻町校外生活指導連絡協議会運営事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町校外生活指導連絡協議会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 奥尻町の将来を背負う若者の健やかな成長のため、小中高、保護者、地域間の協力を目指す。 |
| 事業概要 | 町内小中高生の生活の実態について共通理解を深め、緊急の事態が起こった場合、学校・理事・保護者が適切に努める。 |
| 対象者 | 奥尻町教育委員会、各小中学校生徒指導担当教諭、児童委員、少年指導員、警察、奥尻町交通安全協会 |

3.実施状況

| 指標 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------------|----|---------------------------|---------------------------|-----------------------------|------------------------|----------------------|
| 会議開催回数 | | 4 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| 少年の主張大会への派遣(引率者) | 人数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 教育講演会(町P連共催) | 講師 | 竹内 正樹 氏 (NPO法人企業教育研究会) | 高田 のぞみ 氏 (北海道今金高等養護学校) | 金子 耕弉 氏 (HBCラジオパーソナリティー) | 白川 清久 氏 (滝川市立西小学校長) | 大友 秀人 氏 (北海道大学教授) |
| 決算額 | 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事務局費 | | 45 | 79 | 100 | 100 | 100 |
| 負担金補助及び交付金 | | 45 | 79 | 100 | 100 | 100 |

4.事務事業の評価(自己評価)

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 児童生徒の健全育成のための活動であることから、必要性があるため現状を維持し、継続していく。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 (B)現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|----------------------|------|----------------------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局総務係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 教育団体の育成 | 施策内容 | 教育三団体の育成及び活動の充実を図るため、その運営費を助成する。 | | |
| 事業名 | 奥尻町教育団体連合会運営事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育団体連合会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 町内小中学校の教育活動を補助する各種団体の円滑な運営を目的とする。 |
| 事業概要 | 奥尻町特別支援学級教育研究会、奥尻町教育推進協議会、奥尻町へき地複式教育研究連盟 |
| 対象者 | 奥尻町立学校教職員 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| へき地複式教育研究連盟 補助金 | | | | | 33 |
| 特別支援学級教育研究会 補助金 | 150 | 150 | 150 | 180 | 180 |
| 教育推進協議会 補助金 | 300 | 300 | 249 | 200 | 200 |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事務局費 | 450 | 450 | 399 | 380 | 413 |
| 負担金補助及び交付金 | 450 | 450 | 399 | 380 | 413 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 町内外の教育関係機関との連携や、学校間の交流、公開研究会などを通じて教員の資質を図り、もって児童生徒の学力向上などへ資することから、必要な施策と考える。現状を維持し継続する。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 (B) 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|----------------------|------|--|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局総務係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 小学校陸上競技 | 施策内容 | 各小学校の児童による陸上大会や球技大会を行い、スポーツマンシップ育成や児童の交流を図る。 | | |
| 事業名 | 奥尻町小学校体育連盟運営事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町小学校体育連盟 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 町内小学校陸上や小学校球技交流大会等の参加を通して、児童の学校間の交流を図る。 |
| 事業概要 | 奥尻町小学校陸上競技大会、小学校球技大会 |
| 対象者 | 奥尻町小学校児童 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 内訳 | | | | | |
| 事務局費 | 32 | 34 | 22 | 30 | 30 |
| 会議費 | 4 | 4 | 5 | 3 | 4 |
| 陸上大会費 | 133 | 86 | 158 | 126 | 59 |
| 球技大会費 | 5 | 0 | 5 | 5 | 15 |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事務局費 | 174 | 174 | 190 | 164 | 108 |
| 負担金補助及び交付金 | 174 | 174 | 190 | 164 | 108 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">E</td> </tr> </table> | ランク | E | <p>奥尻町立小学校児童の陸上競技大会や球技大会を実施するための運営補助事業である。陸上競技大会については翌年度をもって廃止し、球技大会については教員等の負担を軽減するため、令和元年度をもって廃止の予定とする。</p> |
| ランク | | | |
| E | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 陸上競技大会は令和元年度で廃止し、球技大会は他の事業に含めて継続となるためランクEとし事業廃止とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|----------------------|------|--------------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 小学校歴史 | 施策内容 | 郷土教育を図るため社会科副読本を増刷・修正する。 | | |
| 事業名 | 奥尻町社会科副読本製作事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町社会科副読本製作委員会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 改訂した社会科副読本の増刷・内容修正をする。 |
| 事業概要 | 奥尻町社会科副読本の内容修正・増刷 |
| 対象者 | 奥尻町小学校児童 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 内訳 | | | | | |
| 事務局費 | | 0 | 10 | 10 | 1 |
| 会議費 | | 6 | 1 | 1 | 0 |
| 印刷製本費 | | 254 | 28 | 28 | 21 |
| 旅費 | | 32 | 8 | 8 | 3 |
| 消耗品費 | | 8 | 3 | 3 | 1 |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事務局費 | | 300 | 50 | 50 | 26 |
| 負担金補助及び交付金 | | 300 | 50 | 50 | 26 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>今後も情報の更新や増刷予算の確保は必要なものの、大きな改訂はないため、現状のまま継続していく。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|-------------------------|------|-------------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 高等学校 | 施策内容 | 奥尻高校の生徒が学習支援ツールを使うための補助 | | |
| 事業名 | 学習支援ツール（スタディサプリ）導入事業補助金 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成29年度 |
| 目的 | 生徒の学習の際に使用できるツールの使用料を補助することで、教育の質を向上させる。 |
| 事業概要 | インターネット接続環境においてスマートフォンやパソコンを利用し動画を視聴することができるサービス。大学別講座や、センター試験対策講座の受講が可能。奥尻高校生徒へのスタディサプリ利用料3分の2を町で補助している。 |
| 対象者 | 奥尻高校生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 教育振興費 | | | | 164 | 176 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>学習支援ツールを導入することにより、生徒たちの自主的な学習機会の増加が見込め、またツールにより客観的に自身の理解度などを把握できるため、学習の方向性を定めやすくなっており、全体的な学力向上につながっているため、継続した実施が必要と考える。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|----------------------------------|------|--|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | 檜山中体連に参加することで、日頃の練習の成果を試すとともに、部活動への活動意欲を高める。 | | |
| 事業名 | 奥尻町立中学校檜山中体連陸上・各球技大会出場事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年6月9日（陸上）、7月3日・4日（野球、バレー、卓球） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町立中学校 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 日頃の練習の成果を試すとともに、全道大会出場権獲得も含め、上位入賞を目標として参加する。 |
| 事業概要 | 檜山中体連に参加することで日頃の練習の成果を試すとともに、活動意欲を高め、体育教育の向上を目指す。 |
| 対象者 | 奥尻町立中学校生徒及び引率教員 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加生徒数 | | | | | |
| 陸上 | 16 | 9 | 11 | 16 | 12 |
| 野球 | 21 | 17 | 19 | 13 | 10 |
| 卓球 | 12 | 15 | 15 | 14 | 12 |
| バレー | 15 | 9 | 15 | 17 | 15 |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 教育振興費 | 1,286 | 711 | 1,306 | 757 | 661 |
| 負担金補助及び交付金 | 1,286 | 711 | 1,306 | 757 | 661 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---------|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| | 檜山中体連出場事業に係る経費であることから、現状を維持し継続することとする。 |
| ランク | B |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 (B) 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|-----------------------------|------|---------------------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | 北海道中学校バレーボール大会へ出場するため、必要な助成を行う。 | | |
| 事業名 | 奥尻中学校北海道中学校バレーボール大会出場事業（男子） | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年7月31日～8月2日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町立奥尻中学校 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 檜山地区の代表として北海道中学校バレーボール大会に出場する。 |
| 事業概要 | 札幌市で開催される北海道中学校体育連盟主催による北海道中学校バレーボール大会へ出場する。 |
| 対象者 | 奥尻町町立奥尻中学校生徒及び引率教員 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加生徒数 | | | | | |
| バレーボール | | | 1 | 2 | 2 |
| 引率教員数 | | | 1 | 1 | 1 |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 教育振興費 | | | | | |
| 負担金補助及び交付金 | | | 104 | 168 | 165 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---------|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | B |
| | 北海道中学校バレーボール大会出場事業に係る経費であることから、出場が決まればその都度財政当局と協議する。日頃の練習成果を發揮する絶好の機会であり、全道大会を経験することにより、今後の活動の活性化にも寄与し、生徒の活動の目標としても大変有意義な大会出場となっているため、今後も継続した助成を必要とする。 |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|------------------|------|-------------------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | 北海道中学校陸上競技大会へ出場するため、必要な助成を行う。 | | |
| 事業名 | 北海道中学校陸上競技大会出場事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年7月25日～27日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町立中学校 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 檜山中体連を勝ち抜き、全道大会の出場権を獲得したため、北海道中学校陸上競技大会へ出場する。 |
| 事業概要 | 函館市で開催される北海道中学校体育連盟主催による北海道中学校陸上競技大会へ出場する。 |
| 対象者 | 奥尻町町立奥尻中学校生徒及び引率教員 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加生徒数 | | | | | |
| 陸上 | | | | 2 | 1 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 教育振興費 | | | | | |
| 負担金補助及び交付金 | | | | 204 | 56 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---------|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | B |
| | 日頃の練習の成果を十分に発揮したものの、予選敗退となった。生徒たちにとって、全道各地の選手を相手に堂々と競技に臨むことができ、多くの達成感を得る経験となっており、今後の活動も期待されるため、継続した助成が必要となる。 |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--------------------------|------|--------------------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | 吹奏楽部函館地区コンクールへ出場するため、必要な助成を行う。 | | |
| 事業名 | 奥尻町立中学校吹奏楽部函館地区コンクール出場事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年7月27日～29日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町立中学校 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 日頃の練習の成果を試すとともに、参加することにより、さらに今後の活動意欲を高め、吹奏楽部を中核として情操教育の向上を目指す。 |
| 事業概要 | 北斗市かなで〜るにおいて、北海道吹奏楽連盟主催による函館地区吹奏楽コンクールが開催される。 |
| 対象者 | 奥尻町立中学校生徒及び引率教員 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加生徒数 | 12 | 13 | 11 | 8 | 7 |
| 引率教員数 | 4 | 4 | 4 | 2 | 3 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 教育振興費 | 406 | 331 | 490 | 365 | 399 |
| 負担金補助及び交付金 | 406 | 331 | 490 | 365 | 399 |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 日頃の練習の成果を発表する上で貴重な場であることから、現状を維持して今後とも続けていきたい。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 (B) 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|------------------------|------|-------------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | 英語暗唱大会へ出場するため、必要な助成を行う。 | | |
| 事業名 | 奥尻中学校檜山管内中学校英語暗唱大会出場事業 | | | | |
| 事業実施日 | 10月9日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|------------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町立奥尻中学校 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 日々の授業で培ったコミュニケーション能力を発表する機会を与えるため。 |
| 事業概要 | 管内の中学校から選抜された生徒が集まり、英語暗唱大会を実施している。 |
| 対象者 | 奥尻町立中学校生徒及び引率教員 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加生徒数 | 2 | 3 | 4 | 2 | 1 |
| 引率教員数 | 2 | 3 | 2 | 1 | 1 |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 教育振興費 | 59 | 38 | 39 | 17 | 9 |
| 負担金補助及び交付金 | 59 | 38 | 39 | 17 | 9 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | |
|--|-------------------------|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | |
| <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> <p>英語暗唱大会という、奥尻には開催していないことから、出場することで様々な経験を培えることから、現状を維持しつつ、事業を継続する。</p> | ランク | B |
| ランク | | |
| B | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 (B) 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|----------------------|------|---------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育（小学校）、義務教育（中学校） | 施策内容 | ミルク給食を活用した食育の推進を図る。 | | |
| 事業名 | 学校給食費 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養い、ミルク給食を活用した食育の推進を図る。 |
| 事業概要 | 小学校及び中学校においてミルク給食を実施する。 |
| 対象者 | 児童・生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 学校給食費 | 1,951 | 1,788 | 1,773 | 1,610 | 1,400 |
| 需用費 | 1,809 | 1,646 | 1,631 | 1,454 | 1,244 |
| 役務費 | 142 | 142 | 142 | 156 | 156 |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>離島という地域性であるため、食材の安定的供給が不確定要素であることから、また給食施設も莫大な経費がかかることから、現行のミルク給食を維持していくことが適切であると考えます。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|-----------------------|------|-------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育（小学校） | 施策内容 | 修学旅行費を援助する。 | | |
| 事業名 | 修学旅行費援助事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年7月11日～平成30年7月13日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 児童の広い知識の豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。 |
| 事業概要 | 小学校の修学旅行費を援助する。 |
| 対象者 | 児童 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加者 | | | | | |
| 奥尻小学校 | 7 | 11 | 7 | 5 | 8 |
| 青苗小学校 | 11 | 13 | 9 | 5 | 6 |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 教育振興費 | 888 | 1,169 | 873 | 549 | 539 |
| 扶助費 | | | | | |
| 奥尻小学校 | 388 | 636 | 457 | 282 | 308 |
| 青苗小学校 | 500 | 533 | 416 | 267 | 231 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも現状のまま維持とする。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 (B) 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|-----------------------|------|-------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育（中学校） | 施策内容 | 修学旅行費を援助する。 | | |
| 事業名 | 修学旅行費援助事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年8月28日～平成30年8月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | |
| 目的 | 児童の広い知識の豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。 |
| 事業概要 | 中学校の修学旅行費を援助する。 |
| 対象者 | 生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加者 | | | | | |
| 奥尻中学校 | 7 | 4 | 6 | 17 | 22 |
| 青苗中学校 | 20 | 9 | 16 | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 教育振興費費 | 2,273 | 1,400 | 2,181 | 1,399 | 1,760 |
| 扶助費 | | | | | |
| 奥尻中学校 | 692 | 440 | 608 | 1,399 | 1,760 |
| 青苗中学校 | 1,581 | 1,000 | 1,573 | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも現状のまま維持とする。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 (B) 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|-------------------------|------|-------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 高等学校 | 施策内容 | 修学旅行費を援助する。 | | |
| 事業名 | 見学旅行費援助事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年10月14日～平成30年10月18日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成28年度 |
| 目的 | 生徒に広い知識、豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。 |
| 事業概要 | 高校の見学旅行費を援助する。 |
| 対象者 | 生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加者 | | | | | |
| 奥尻高等学校 | | | 17 | 9 | 12 |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 教育振興費費 | | | 812 | 470 | 567 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも現状のまま維持とする。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|----------------------|------|-----------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 高校 | 施策内容 | 島ぐるみで高校の魅力化を図る。 | | |
| 事業名 | まなびじま奥尻プロジェクト | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町、奥尻高校 |
| 事業開始年度 | 平成28年度 |
| 目的 | 持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、島全体を学校とみなし各産業等の課題克服に生徒自身が考え行動する。 |
| 事業概要 | まちおこしワークショップ・奥尻イングリッシュサロン・Wi-fiコーナー・奥尻パブリシティ |
| 対象者 | 奥尻高校生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----|--------|--------|----------|----------|----------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 | 千円 | | | | |
| | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| | | | 事業予算0ベース | 事業予算0ベース | 事業予算0ベース |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>島の課題に生徒自ら挑戦することで、現代で必要とされる課題解決能力を生徒全員が身につけることができる。また、遠隔個別指導を実施することにより、離島というハンディキャップを解消し、地域格差を是正することができている。さらにこうした取組により奥尻高等学校の魅力化が図れ、生徒の確保にもつながっている。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|----------------------|------|-------------------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 高等学校 | 施策内容 | 奥尻高校の存続のため、高校生徒の島外からの受入を実施する。 | | |
| 事業名 | 奥尻高校島留学生受入推進事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町・奥尻高校 |
| 事業開始年度 | 平成28年度 |
| 目的 | 奥尻高校の生徒数維持、教育環境の向上のため島外からの生徒受入を実施する。 |
| 事業概要 | 全国各地での生徒募集説明会の開催（地域みらい留学）、オープンキャンパスの実施、受入宿舍の確保、受入宿舍および島留学生への補助 |
| 対象者 | 島留学生・保護者・島留学生受入宿舍 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 説明会(独自)参加者 人数 | | | 33 | 52 | 47 |
| OC参加者 人数 | | | 19 | 36 | 35 |
| 島留学生(新規) 人数 | | | | 5(3) | 16 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 島留学生関連事業費 | | | 639 | 2,938 | 8,591 |
| 旅費 | | | 387 | 420 | 395 |
| 委託料 | | | | 359 | 1,748 |
| 印刷製本費 | | | 87 | 540 | 146 |
| 使用料及び借上料 | | | 165 | 198 | 60 |
| 負担金補助及び交付 | | | | 1,421 | 6,244 |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>説明会については、大阪・東京において地域みらい留学フェスタに参加する形で行い、北海道内では独自の説明会を函館・札幌・旭川で行った。これらは奥尻高校の魅力为全国へ伝える良い機会となっている。島留学生の受入は高校の存続、奥尻町が抱える担い手不足・過疎化の解決にとっても重要な取組であり、今後も継続して募集や島留学生への支援を行っていく必要がある。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|----------------------|------|-----------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 高等学校 | 施策内容 | 特色ある取組みとしてスクーバ授業を実施する | | |
| 事業名 | スクーバ授業推進事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻高校 |
| 事業開始年度 | 平成7年度 |
| 目的 | 離島という特性を活かし、特色ある授業としてスクーバ授業を実施する。 |
| 事業概要 | スクーバダイバー講習、アドバンススクールダイバー講習、潜水技術基礎訓練等を実施。またそれらに使用する機材の更新、保守など |
| 対象者 | 奥尻高校生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| Cカード取得 | | | 10 | 6 | 8 |
| アドバンス取得 | | | 7 | 10 | 6 |
| 潜水士 | | | 0 | 1 | 4 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 人材育成費 | | | 1,500 | 2,570 | 5,091 |
| 委託料 | | | | 1,796 | 3,136 |
| 備品購入費 | | | | 774 | 1,955 |
| 負担金補助及び交付金 | | | 1,500 | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> | ランク | A | <p>奥尻島の美しい海でスクーバダイビングを体験し、島の美しさを再認識することができ郷土愛が育まれる。また、漁業後継者、観光業従事者等の人材育成につながることや、全国的なPRとしても有効であることから、今後も継続した事業実施に努める必要があるが、島留学生による生徒数の増加により機材の確保や指導員の増員なども必要になると考える。</p> |
| ランク | | | |
| A | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | <input checked="" type="radio"/> A 事業の拡充 <input type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="radio"/> C 改善の上継続 <input type="radio"/> D 事業の縮小 <input type="radio"/> E 休廃止の検討 |
| 論評 | 町職員のインストラクター資格取得や機材の整備などを検討。ランクAとして事業の拡充が妥当である。 |

1.基本項目

| | | | | | | |
|-------|----------------------|------|-----------------------------------|-------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 外国語教育 | 施策内容 | 外国語教育指導助手を招へいし、小中高における外国語教育を推進する。 | | | |
| 事業名 | 外国語教育指導助手招へい事業 | | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成29年度 |
| 目的 | JETプログラムにより、外国語教育指導助手を招へいし、町内各学校の外国語（英語）教育において、ネイティブスピーカーによる指導をすることにより、児童生徒の外国語（英語）能力の向上を図る。 |
| 事業概要 | 小中高に外国語教育指導助手を派遣し、外国語（英語）の授業の補助をする。 |
| 対象者 | 奥尻町立学校児童生徒 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | 1人 | 1人 |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事務局費 | | | | 2,940 | 2,641 |
| 報酬 | | | | 2,204 | 1,900 |
| 共済費 | | | | 351 | 320 |
| 費用弁償 | | | | 141 | 52 |
| 普通旅費 | | | | 61 | 134 |
| 燃料費 | | | | 2 | 7 |
| 通信運搬費 | | | | 27 | 0 |
| 自動車保険料 | | | | 7 | 7 |
| 車借上料 | | | | 147 | 221 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 既に小学校の段階から外国語教育が導入されており、そのなかでネイティブスピーカーによる外国語指導の実施によって「話す」「聞く」能力の向上が図られるため、事業を継続する。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | | |
|-------|--------------------------|------|--|-------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 義務教育（小・中学校） | 施策内容 | 就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対し、学校でかかる費用の一部を町から援助している。 | | | |
| 事業名 | 準要保護児童生徒認定及び援助事業 | | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年7月（前期）、平成30年10月（後期） | | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成23年度 |
| 目的 | 奥尻町内における小・中学校に在籍する就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対し、学校でかかる必要の一部を援助する。 |
| 事業概要 | 就学援助費の支給を受けようとする者は小・中学校を通して教育委員会に認定申請書を提出し、認定を受けた保護者に対し、就学援助費を支給する。 |
| 対象者 | 奥尻町立学校児童生徒の保護者 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 宮津小学校 | 0 | | | | |
| 奥尻小学校 | 0 | 4 | 3 | 3 | 3 |
| 青苗小学校 | 5 | 5 | 4 | 2 | 2 |
| 奥尻中学校 | 1 | 2 | 1 | 7 | 5 |
| 青苗中学校 | 6 | 6 | | | |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 教育振興費 | 15,147 | 17,679 | 19,037 | 12,351 | 9,924 |
| 扶助費 | 3,855 | 3,633 | 3,824 | 2,685 | 2,842 |
| 準要保護児童学用品等援助費 | 713 | 1,025 | 772 | 738 | 544 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|---|-----|---|--|
| 評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>経済的理由により就学困難な児童及び生徒の保護者に対し、学校でかかる費用の一部を援助することによって経済的負担を軽減することができ、児童及び生徒自身も安心して就学することができるため、今後も継続して行っていく必要がある。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 (B) 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|------------------|------|--------------------------|----|--------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会事務局学校教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 藤田 弘太郎 |
| 領域 | 幼稚園・義務教育・高等学校 | 施策内容 | 幼児・児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。 | | |
| 事業名 | 各種検診事業 | | | | |
| 事業実施日 | 学校検診、教職員検診11月 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成元年以前 |
| 目的 | 幼児・児童生徒及び教職員等の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。 |
| 事業概要 | 学校検診では内科・歯科・心臓検査他8項目検診を行う。教職員検診は例年秋に実施。 |
| 対象者 | 幼稚園児・児童生徒・教職員 |

3.実施状況

| 指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学校検診 (人) | 1133 | 1014 | 1038 | 1020 | 985 |
| 教職員検診 (人) | 42 | 51 | 59 | 51 | 47 |
| 決算額 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 検診費 | 1,009 | 997 | 1,106 | 1,040 | 1,060 |
| 学校検診 | 967 | 946 | 1,047 | 989 | 1,013 |
| 教職員検診 | 42 | 51 | 59 | 51 | 47 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 幼児・児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図ることによって、学校教育の円滑な実施につながる事となるため、現状のまま事業の継続が必要である。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 (B) 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--------------------------------------|------|------|----|-----|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花幸久 | 担当 | 工藤学 |
| 領域 | 少年教育 | | | | |
| ねらい | 自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい少年の育成を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 少年の主張発表大会への支援 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年6月21日（木） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | (主催) 北海道檜山振興局 (後援) 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 日常生活の中で体験し、日頃考えている事を広く発表することにより、自らが社会の一員としての自覚と責任の育成を図る。 |
| 事業概要 | 中学校から2名弁論会により選考し、管内で行われる檜山地区大会弁論大会に参加する。 |
| 対象者 | 奥尻中学校生徒（2名） |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加人数 人 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 社会教育総務費 | 12 | 19 | 12 | 10 | 10 |
| 負担金 | 12 | 19 | 12 | 10 | 10 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---------|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | 自らの主張を正しく理解してもらい力などを身につける事業として必要であると判断する。 |
| B | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---------------------------------------|------|-------|----|------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 工藤 学 |
| 領域 | 少年教育 | | | | |
| ねらい | 自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい少年の育成を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 青少年の体験活動推進事業「ジュニアリーダーコースHokkaido」への支援 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年7月29日（日）～7月31日（火） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | (主催) ネイバル森 (共催) 檜山教育局 ※今年度から変更。 |
| 事業開始年度 | 平成17年度 |
| 目的 | ワークショップ等主体的な学習活動を通して、地域活動やまちづくりに参画する青少年リーダーの養成を図る。 |
| 事業概要 | 檜山管内の中高生参加者が、泊りがけでワークショップ等の活動をおこなう。 (宿泊場所は、今までは江差町まなびくだったが、今年度からネイバル森へ。) |
| 対象者 | 奥尻中学校生徒（2名） |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加人数 人 | 1 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 社会教育総務費 | 8 | 25 | 27 | 25 | 17 |
| 負担金 | 8 | 25 | 27 | 25 | 17 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;">ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>中高生が、様々な地域の参加者と交流を図りながら、自分たちで町の課題を解決するためのアクションプラン作り等を行うことは、地域の良さを客観的に見つめる視野や、ボランティア活動などの地域活動に主体的に参画する意欲・態度が身につく、青少年リーダーの育成に有効であると判断する。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|-------|----|------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 工藤 学 |
| 領域 | 青年教育 | | | | |
| ねらい | 活動の中心的なリーダー性や意欲を引き出す取り組みを行なうことによって、地域に根差した人材を育成する。 | | | | |
| 事務事業名 | 成人式・成人の集い | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年8月12日（日） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 社会組織の一員となることから、自覚と意識を持たせることを目的とする。 |
| 事業概要 | 町内の成人となる人を海洋研修センターに迎え式典を行なう。また、成人の集いを開催する。 |
| 対象者 | 町内及び奥尻町出身の成人となる人 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加者 人 | 33 | 21 | 30 | 28 | 16 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 社会教育総務費 | 204 | 181 | 237 | 238 | 220 |
| 賞賜金 | 75 | 78 | 118 | 117 | 130 |
| 食糧費 | 121 | 94 | 109 | 103 | 84 |
| 通信運搬費 | 8 | 9 | 10 | 10 | 2 |
| 消耗品費 | | | | 8 | 4 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>C</td></tr> </table> | ランク | C | <p>式典では、チームナックスがサプライズ登場し、一人ひとりからメッセージをいただいた。</p> <p>集いについては、式典しか案内を出していない来賓からご意見をいただき、来年度からすべての来賓へ式典・集いの案内を出すこととし、来賓・事務局全員から会費を徴収することとした。</p> |
| ランク | | | |
| C | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、事業を改善し継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---------------------------------------|------|-------|----|------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 工藤 学 |
| 領域 | 成人教育 | | | | |
| ねらい | 各社会教育団体に補助することにより、地域活動の推進、地域文化の振興を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 社会教育団体への支援 | | | | |
| 事業実施日 | 通年 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 各団体へ要望に基づき補助を行うことで、活動の活性化を促し、地域に根差した活動の振興を図る。 |
| 事業概要 | PTA連合会・女性団体連絡協議会・文化協会への支援を行う。 また、金銭面以外でも教育委員会として各団体主催事業に対しサポートする。 |
| 対象者 | 奥尻町PTA連合会、奥尻町女性団体連絡協議会、奥尻町文化協会 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 児童生徒数 人 | 170 | 154 | 138 | 130 | 119 |
| 文化団体数 | 11団体、個人4人 | 12団体、個人4人 | 15団体、個人5人 | 15団体、個人3人 | 11団体、個人4人 |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 社会教育総務費 | 430 | 430 | 430 | 430 | 430 |
| 補助金 (PTA) | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 |
| 補助金 (女連協) | 130 | 130 | 130 | 130 | 130 |
| 補助金 (文化協会) | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 |
| | | | | | |

4.事務事業の評価 (自己評価)

| | | | |
|--|-----|---|---|
| 評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>各団体が自立し、活発な活動を行っている。</p> <p>各団体自己負担金はあるものの、更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要がある。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 Ⓒ 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--------------------------------------|------|------|----|-----|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花幸久 | 担当 | 工藤学 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 各社会体育団体に補助することにより、地域活動の推進、スポーツ振興を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 社会体育団体への支援 | | | | |
| 事業実施日 | 通年 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 各団体へ要望に基づき補助を行うことで、活動の活性化を促し、地域に根差した活動の振興を図る。 |
| 事業概要 | 奥尻町体育協会・奥尻町スポーツ少年団・奥尻町町民体育祭実行委員会への支援を行う。 また、金銭面以外でも教育委員会として各団体の運営に対しサポートする。 |
| 対象者 | 奥尻町体育協会、奥尻町スポーツ少年団、奥尻町町民体育祭実行委員会 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 体協加盟団体数 | 11 | 11 | 11 | 9 | 9 |
| スポ少加盟団体数 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| マラソン大会参加人数 | 210 | 302 | 326 | 232 | 雨天中止 |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 保健体育総務費 | 500 | 500 | 530 | 537 | 504 |
| 補助金(体協) | 240 | 240 | 240 | 270 | 270 |
| 補助金(スポ少) | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 |
| 補助金(町体祭) | 150 | 150 | 180 | 157 | 124 |

4.事務事業の評価(自己評価)

| | |
|--|---|
| 評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>ランク</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> </div> | <p>会員数・団員数は年々減少傾向にあるが、各団体が自立し、活発な活動を行っている。</p> <p>体育協会・スポーツ少年団については自己負担金はあるものの、更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要がある。</p> <p>※町民体育祭マラソン大会は、悪天候により中止。</p> |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|------|----|-----|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花幸久 | 担当 | 工藤学 |
| 領域 | 芸術・文化 | | | | |
| ねらい | 町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。 | | | | |
| 事務事業名 | 第40回全町児童・生徒書道展 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年12月11日（火）～12月16日（日） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 児童・生徒に対し書道の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を養う。 |
| 事業概要 | 海洋研修センターで、各小中学校から提出のあった書道作品を展示する。 |
| 対象者 | 小学校児童及び中学校生徒 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 作品数 点 | 170 | 149 | 140 | 129 | 114 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 社会教育総務費 | 57 | 57 | 57 | 83 | 25 |
| 報償費 | 54 | 54 | 54 | 81 | 23 |
| 費用弁償 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---------|--------------------------------|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | 町民の観覧も多く、芸術鑑賞としての位置付けは確立されている。 |
| B | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|------|----|-----|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花幸久 | 担当 | 工藤学 |
| 領域 | 芸術・文化 | | | | |
| ねらい | 町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。 | | | | |
| 事務事業名 | 第40回子ども美術展 | | | | |
| 事業実施日 | 平成31年2月5日（火）～2月11日（月） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 絵画による表現や鑑賞の機会を提供することにより、児童・生徒が創作する喜びや、作品を通して感動する心豊かな感性や情操を養う。 |
| 事業概要 | 海洋研修センターで、各小中学校から提出のあった絵画作品を展示する。 |
| 対象者 | 小学校児童及び中学校生徒 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 作品数 点 | 180 | 155 | 140 | 139 | 130 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 社会教育総務費 | 85 | 87 | 87 | 60 | 76 |
| 報償費 | 82 | 84 | 82 | 55 | 47 |
| 費用弁償 | 3 | 3 | 5 | 5 | 29 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td style="font-size: 2em;">B</td></tr> </table> | ランク | B | <p>町民の観覧も多く、芸術鑑賞としての位置付けは確立されている。 （絵画以外の作品も自由作品として展示してもらうため、H29より名称を『絵画展』から『美術展』へ変更）</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|------|----|-----|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花幸久 | 担当 | 工藤学 |
| 領域 | 芸術・文化 | | | | |
| ねらい | 町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。 | | | | |
| 事務事業名 | 奥尻岬巡りツアー | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年5月12日（土） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成27年度 |
| 目的 | 奥尻町に転入された方を中心に、島の史跡や歴史、活動を紹介することで、より奥尻島を深く知ってもらくとともに、今後の社会活動のきっかけづくりとする。 |
| 事業概要 | 島内の史跡や観光地を巡りながら、島の情報を発信し、相互の親睦を図り、これからの島での活動につなげていってもらう。 |
| 対象者 | 全町民 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加者数 人 | | 36 | 22 | 19 | 14 |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 社会教育総務費 | | 5 | 12 | 10 | 9 |
| 食糧費 | | 5 | 12 | 10 | 9 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|---|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>新しく島に来る人にとってはとても有意義な事業であり、今後もこの方向性で展開していく。 4月の転入手続きの際にチラシを渡せるよう早めの準備をした。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|------|----|-----|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花幸久 | 担当 | 工藤学 |
| 領域 | 芸術・文化 | | | | |
| ねらい | 町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。 | | | | |
| 事務事業名 | 児童芸術鑑賞事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年9月28日（金） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 日頃舞台芸術を鑑賞する機会が少ない地域の児童生徒に対して、鑑賞する機会を提供し、次代を担う児童生徒の豊かな感性や個性を育むと共に、芸術文化を理解し、大切にすることを養う。 |
| 事業概要 | 児童を対象に、小学校体育館を活用し、児童劇、音楽隊などの芸術団体を招き、鑑賞する。文化庁が実施している巡回公演（経費は全額文化庁が負担）と北海道巡回小劇場（道から1/3補助）どちらかを実施。 |
| 対象者 | 町内小学生 |

3.実施状況

| 数値等で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----------|-----------|-----------------|-----------------|------------|------------|
| 巡回小劇場 | ハルモニア（音楽） | ひのき屋わいわい音楽隊（音楽） | イキイキワクワク音楽会（音楽） | 陽気なハンス（演劇） | |
| 巡回公演 | | | | パントマイム | テレマンオーケストラ |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 社会教育総務費 | 292 | 300 | 300 | 300 | 0 |
| 負担金 | 292 | 300 | 300 | 300 | 0 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|---|-----|---|---|
| 評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>今年は巡回公演が採択になったので経費をかけることなく実施できた。</p> <p>来年度以降もまずは巡回公演に応募し、採択されなかった場合、巡回小劇場に応募する流れで進む旨、両小学校と協議済み。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--------------------------------------|------|-------|----|------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 工藤 学 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい少年の育成を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 平成30年度佐藤義則杯野球大会 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年9月16日（日） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成元年 |
| 目的 | 郷土の星、東北楽天ゴールデンイーグルス投手コーチ（元オリックスブルーウェーブ投手）「佐藤義則」氏の功績をたたえるとともに、町内野球団体の技術の普及向上と親睦を図る。 |
| 事業概要 | 町内の野球団体の参加をいただき、野球大会を開催することにより、野球振興の活性化を図る。 |
| 対象者 | 町内野球団体 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加チーム数 チーム | 5 | 5 | 3 | 4 | 4 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 保健体育総務費 | 51 | 54 | 53 | 56 | 53 |
| 報償金 | 6 | 34 | 24 | 42 | 40 |
| 賞賜金 | 0 | | | | |
| 消耗品 | 0 | 20 | 14 | 14 | 13 |
| 食糧費 | 45 | | 15 | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|---------|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | 町内野球団体（奥中野球部を含む）による野球大会として、野球愛好会を軸に展開しており、町の野球振興の活性化につながっている。 |
| B | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|-------|----|------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 工藤 学 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供を体育協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 檜山管内スポーツフェスタ（町内開催） | | | | |
| 事業実施日 | 未実施 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 事業主体 | (主催) 檜山管内スポーツフェスタ実行委員会 (共催) 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成13年度 |
| 目的 | 町民のスポーツ振興及び参加意欲向上と、他町参加者との親睦と交流を図る。 |
| 事業概要 | 檜山管内スポーツフェスタとしてバレーボール大会を開催する。 |
| 対象者 | 管内スポーツ団体 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加町数 町 | 3 | 4 | 4 | 7 | 0 |
| 参加人数 人 | 21 | 25 | 23 | 67 | 0 |
| 競技名 | 卓球 | バドミントン | 卓球 | パークゴルフ | バレーボール |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|---|-----|---|---|
| 評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | <p>町外からの参加が少なく中止とした。種目によっては、やっていない町が多い種目があるので、種目の選定には注意が必要。奥尻開催の場合は宿泊を伴うので、早い段階から各町愛好団体との調整が必要。年々規模が縮小傾向にあるが、管内の愛好団体が一堂に会し開催される事業は他にない。</p> |
| ランク | | | |
| B | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|-------|----|------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 工藤 学 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供を体育協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 檜山管内スポーツフェスタ（町外開催） | | | | |
| 事業実施日 | - | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 事業主体 | (主催) 檜山管内スポーツフェスタ実行委員会 (共催) 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成13年度 |
| 目的 | 町民のスポーツ振興及び参加意欲向上と、他町参加者との親睦と交流を図る。 |
| 事業概要 | 檜山管内スポーツフェスタとして、町外の大会に参加する。 |
| 対象者 | 管内スポーツ団体 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加競技数 | 2 | 3 | 3 | 1 | 1 |
| | | | | ゲートボール | ゲートボール |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 保健体育総務費 | 282 | 318 | 173 | 113 | 97 |
| 負担金 | 282 | 318 | 173 | 113 | 97 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | | | |
|--|---|---|----------|--|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>ランク</td> <td>ゲートボール（せたな町開催）奥尻町Aチーム優勝。 各競技、島外で試合する機会は少ないので、参加する意義は高い。 他の種目についても参加したい団体もあったが、冬場開催のため、フェリーや天候がネックになり断念した。 開催町に奥尻町が参加しやすい夏場開催にしてもらうなど働きかけが必要。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td></td> </tr> </table> | ランク | ゲートボール（せたな町開催）奥尻町Aチーム優勝。 各競技、島外で試合する機会は少ないので、参加する意義は高い。 他の種目についても参加したい団体もあったが、冬場開催のため、フェリーや天候がネックになり断念した。 開催町に奥尻町が参加しやすい夏場開催にしてもらうなど働きかけが必要。 | B | | |
| ランク | ゲートボール（せたな町開催）奥尻町Aチーム優勝。 各競技、島外で試合する機会は少ないので、参加する意義は高い。 他の種目についても参加したい団体もあったが、冬場開催のため、フェリーや天候がネックになり断念した。 開催町に奥尻町が参加しやすい夏場開催にしてもらうなど働きかけが必要。 | | | | |
| B | | | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|-------|----|------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 工藤 学 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供を体育協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 第42回町民スキー大会 | | | | |
| 事業実施日 | 平成31年2月17日（日） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|------------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 昭和49年度ころ |
| 目的 | スキーを通じて、冬期間における町民の親睦と体力・技術の向上を図る。 |
| 事業概要 | 町内の小中学生を中心にしたスキー、スノーボードの大会を開催する事業。 |
| 対象者 | 町内小中高生・一般 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加者 人 | 59 | 78 | 69 | 58 | 41 |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 保健体育総務費 | 200 | 157 | 183 | 187 | 148 |
| 報償費 | 114 | 104 | 101 | 98 | 101 |
| 消耗品 | 21 | 13 | 28 | 35 | 12 |
| 燃料費 | 0 | | | | |
| 食糧費 | 65 | 40 | 54 | 54 | 35 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|----------|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | 冬期間のスポーツ振興としてのスキーは確立しており、引き続き愛好会との連携で行なっていく必要がある。 |
| B | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 ⓑ 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|------|----|-----|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花幸久 | 担当 | 工藤学 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供を体育協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 学校等体育館・グラウンド夜間開放事業 | | | | |
| 事業実施日 | 通年 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 町民の身近なところで、気軽にスポーツを楽しめるよう、学校の体育施設を開放する。 |
| 事業概要 | 各愛好会のスポーツ振興のため、各学校施設の体育館、グラウンド、町民センター体育館を町民に開放する。 |
| 対象者 | 町民 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 体育館利用団体 チーム | 19 | 21 | 23 | 18 | 18 |
| グラウンド利用団体 チーム | 3 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| 収入 円 | 235 | 208 | 237 | 186 | 131 |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 体育施設費 | 350 | 290 | 159 | 195 | 200 |
| 報酬 | 60 | 40 | 20 | 20 | 20 |
| 賃金 | 290 | 250 | 139 | 175 | 180 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | |
|--|-----|---|--|
| 評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | 利用の需要は高く、可能な限り開放を展開していきたい。 グラウンド夜間照明の管理人報酬については、特に見回りをするわけでもなく、カギを置いているだけなので来年度以降予算化しないこととした。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|-------|----|------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 工藤 学 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供を体育協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | スキー場開放事業 | | | | |
| 事業実施日 | 平成31年1月8日～平成31年2月28日 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|----------------------------------|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | 簡易リフトを開放し、スキー人口の拡大と愛好者の技術の向上を図る。 |
| 事業概要 | 桜ヶ丘スキー場の冬期間解放。 |
| 対象者 | 一般町民 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----------|--------|----------------|--------|--------|--------|
| リフト券購入者 人 | 88 | 73 (高校生以上) | 76 | 67 | 70 |
| 延べ利用者 日 | 2140 | 2265 (中学生以下含む) | 2148 | 1913 | 1393 |
| オープン期間 日 | 51 | 50 | 56 | 58 | 54 |
| 収入 円 | 180 | 148 | 158 | 136 | 164 |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 体育施設費 | 2,600 | 2,362 | 2,427 | 2,320 | 1,961 |
| 賃金 | 1,311 | 1,359 | 1,577 | 1,364 | 1,084 |
| 消耗品費 | 96 | 102 | 53 | 15 | 44 |
| 燃料費 | 63 | 47 | 86 | 90 | 99 |
| 光熱水費 | 232 | 254 | 257 | 247 | 282 |
| 修繕費 | 388 | 184 | 26 | 188 | 20 |
| 手数料 | 10 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 火災保険料 | 41 | 41 | 42 | 15 | 15 |
| 通信運搬費 | 5 | 8 | 6 | 6 | 6 |
| 委託料 | 305 | 313 | 324 | 341 | 357 |
| 使用料 | 149 | 54 | 54 | 54 | 54 |
| 工事請負費 | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | |
|----------|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] |
| ランク | 冬季のスポーツ振興の一角を担っている事業。スキー場が整備されている強みを生かし今後も上手に活用していくべきである。ただし、収入と支出のバランスを考えたとき何らかの方策は考える必要はある。 |
| B | |

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | A 事業の拡充 Ⓐ 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|-------|----|------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 工藤 学 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供を体育協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 第25回教育長杯グラウンドゴルフ大会 | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年9月9日（日） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | 奥尻町教育委員会 |
| 事業開始年度 | 平成6年度 |
| 目的 | 誰にでもできるスポーツのグラウンドゴルフの普及と技術の向上をめざし、相互の親睦と体力の増進を図る。 |
| 事業概要 | グラウンドゴルフの大会を開催する。 |
| 対象者 | 小学生～一般町民 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加者 人 | 49 | 46 | 49 | 29 | 53 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 保健体育総務費 | 39 | 28 | 51 | 33 | 28 |
| 報償費 | 23 | 12 | 37 | 33 | 28 |
| 食糧費 | 16 | 16 | 14 | 0 | 0 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | | | |
|---|---|---|---|--|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">ランク</td> <td>グラウンドゴルフ愛好会が活動休止になったが、全員がパークゴルフへシフトチェンジしたわけではないので、 一定の参加者が見込めるうちは、会場を変えるなど工夫を凝らしながら開催していく。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td> </td> </tr> </table> | ランク | グラウンドゴルフ愛好会が活動休止になったが、全員がパークゴルフへシフトチェンジしたわけではないので、 一定の参加者が見込めるうちは、会場を変えるなど工夫を凝らしながら開催していく。 | B | | |
| ランク | グラウンドゴルフ愛好会が活動休止になったが、全員がパークゴルフへシフトチェンジしたわけではないので、 一定の参加者が見込めるうちは、会場を変えるなど工夫を凝らしながら開催していく。 | | | | |
| B | | | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|-------|----|------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 工藤 学 |
| 領域 | スポーツ | | | | |
| ねらい | 心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供を体育協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。 | | | | |
| 事務事業名 | 町民スキー教室 | | | | |
| 事業実施日 | 平成31年1月20日（日） | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | (主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 奥尻町スキー愛好会 |
| 事業開始年度 | 不明 |
| 目的 | スキー技術の向上、スキー人口の拡大を図るとともに、スキーヤー同士の親睦を深める。 |
| 事業概要 | 桜ヶ丘スキー場にて、奥尻町スキー愛好会の協力を得て、スキー教室を開催する。 |
| 対象者 | 全町民 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加者 人 | 33 | 48 | 34 | 52 | 36 |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 保健体育総務費 | 56 | 64 | 57 | 55 | 57 |
| 報償費 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |
| 食糧費 | 6 | 7 | 7 | 5 | 5 |
| 消耗品 | | 7 | | | 2 |

4.事務事業の評価（自己評価）

| | | | | | |
|--|--|--|---|--|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">ランク</td> <td>開催時期が早いので、初心者の参加が多く見受けられる。幼稚園から一般まで幅広い層の参加がある中、スキー愛好会教育部以外の学校の先生の協力もあり、技術向上を目的とする参加者にマンツーマンに近い形で指導できている。今後も展開していく。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> <td></td> </tr> </table> | ランク | 開催時期が早いので、初心者の参加が多く見受けられる。幼稚園から一般まで幅広い層の参加がある中、スキー愛好会教育部以外の学校の先生の協力もあり、技術向上を目的とする参加者にマンツーマンに近い形で指導できている。今後も展開していく。 | B | | |
| ランク | 開催時期が早いので、初心者の参加が多く見受けられる。幼稚園から一般まで幅広い層の参加がある中、スキー愛好会教育部以外の学校の先生の協力もあり、技術向上を目的とする参加者にマンツーマンに近い形で指導できている。今後も展開していく。 | | | | |
| B | | | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|------|----|-----|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花幸久 | 担当 | 工藤学 |
| 領域 | 青少年教育・成人教育 | | | | |
| ねらい | 地域の多様な人材、企業等に参画していただき、学校では経験できないような体験事業を年間を通じて開催することで、青少年の「生きる力」を育むとともに、町民の主体的なまちづくりへの意識を醸成する。 | | | | |
| 事務事業名 | おくしりチャレンジスクール | | | | |
| 事業実施日 | 土曜日を中心に年8回 | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|---|
| 事業主体 | (主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 学校支援ボランティア登録企業・機関・団体 |
| 事業開始年度 | 平成29年度～ |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子育てを支援する気運の醸成 ・青少年の生きる力を育む ・地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等の構築 |
| 事業概要 | ・年に8回、地域の資源や人材を活用し、様々な体験事業を開催する。 |
| 対象者 | 幼稚園児・小学生・中学生・高校生・保護者 |

3.実施状況(継続事業を除く)

| 数値で表せる指標 | スポーツ体験 | 自然塾～探検編～ | 自然塾～キャンプ編～ | 自然塾～ものづくり編～ | おとあそび教室 | 図書室のお仕事 | スイーツ作り体験 |
|----------|--------|----------|------------|-------------|---------|---------|----------|
| 参加者 人 | 5 | 26 | 11+高ボラ3 | 7 | 21 | 1 | 27 |
| 予算支出 千円 | スポーツ体験 | 自然塾～探検編～ | 自然塾～キャンプ編～ | 自然塾～ものづくり編～ | おとあそび教室 | 図書室のお仕事 | スイーツ作り体験 |
| 社会教育総務費 | 0 | 9 | 15 | 18 | 35 | 0 | 19 |
| 報償費 | | | | 18 | | | 9 |
| 食糧費 | | | 会費徴収 | | | | 10 |
| 消耗品 | | 9 | 15 | | 35 | | |

4.事務事業の評価(自己評価)

| | | | | | |
|---|--|--|---|--|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>ランク</td> <td>それぞれの事業の反省を生かし、継続していくべき事業を続けていく一方で、子どもたちや地域のニーズを探りながら新たな資源を活用した事業の立ち上げも検討していく。</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> <td></td> </tr> </table> | ランク | それぞれの事業の反省を生かし、継続していくべき事業を続けていく一方で、子どもたちや地域のニーズを探りながら新たな資源を活用した事業の立ち上げも検討していく。 | B | | |
| ランク | それぞれの事業の反省を生かし、継続していくべき事業を続けていく一方で、子どもたちや地域のニーズを探りながら新たな資源を活用した事業の立ち上げも検討していく。 | | | | |
| B | | | | | |
| <p>A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討</p> | | | | | |

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|---|------|-------|----|------|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花 幸久 | 担当 | 工藤 学 |
| 領域 | 青少年教育・成人教育 | | | | |
| ねらい | 図書室の取組による読書活動の推進及び図書室利用者増加。 ボランティアによる町民の主体的な町づくり意識の育成。 | | | | |
| 事務事業名 | うみいろC a f e | | | | |
| 事業実施日 | 平成30年11月11日(日) | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | (主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 読みきかせ団体「おはなしの会うみいろ」・図書ボランティア |
| 事業開始年度 | 平成28年度～ |
| 目的 | 図書室をカフェとして開放することをとおして、気軽に図書室を利用してもらい、奥尻町海洋研修センター図書室を知ってもらおうと共に、日常的な利用者増加を図る。 |
| 事業概要 | 一日だけ図書室をカフェとして開放するとともに、読みきかせや自由工作などのイベントを行う。 |
| 対象者 | 一般町民 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加者 人 | | | 100 | 95 | 133 |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 社会教育総務費 | | | — | 11 | 15 |
| 報償費 | | | | | |
| 食糧費 | | | | 10 | 13 |
| 消耗品 | | | | 1 | 2 |

4.事務事業の評価(自己評価)

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> | ランク | A | 奥尻町の読書活動推進のため、図書室に来て本に親しむ機会として、年1回ではなく複数回開くなどして 今後は事業を拡充していく。 |
| ランク | | | |
| A | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|--|
| 評価 | (A)事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、事業の拡充が妥当である。 |

1.基本項目

| | | | | | |
|-------|--|------|------|----|-----|
| 担当係 | 奥尻町教育委員会社会教育係 | 事務局長 | 桜花幸久 | 担当 | 工藤学 |
| 領域 | 青少年教育・成人教育 | | | | |
| ねらい | 親子の健やかな成長の促進、家庭を見守る地域の支援体制作り 家庭・地域の連携による子どもの読書活動の推進 | | | | |
| 事務事業名 | ブックスタート | | | | |
| 事業実施日 | 5月12日(土)、9月29日(土)、1月19日(土) (町乳幼児検診と合わせて実施) | | | | |

2.事務事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業主体 | (主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 読みきかせ団体「おはなしの会うみいる」・図書ボランティア |
| 事業開始年度 | 平成28年度～ |
| 目的 | 子どもたちの心の健やかな成長を願い、乳幼児期より絵本を媒体として親子のコミュニケーションを豊かにし、子どもと保護者の心の健康作りと地域における子育てを支援する。 |
| 事業概要 | 初めての乳幼児検診時にすべての赤ちゃんと保護者に読みきかせをしながら絵本を手渡す。 |
| 対象者 | 初めての乳幼児検診対象者とその保護者 |

3.実施状況

| 数値で表せる指標 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 参加者 人 | | | 23名 | 16名 | 15名 |
| 予算支出 千円 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 社会教育総務費 | | | 21 | 16 | 17 |
| 報償費 | | | | | |
| 食糧費 | | | | | |
| 消耗品 | | | 21 | 16 | 17 |

4.事務事業の評価(自己評価)

| | | | |
|--|-------------------------|---|---|
| 評価及び方向性 | [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価] | | |
| <table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="text-align: center;">ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table> | ランク | B | アンケートの結果、本をプレゼントすることで、家庭で本を読む機会が増えている様子がうかがえることから、今後も事業を継続していく。 |
| ランク | | | |
| B | | | |

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

| | |
|----|---|
| 評価 | A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討 |
| 論評 | 評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。 |